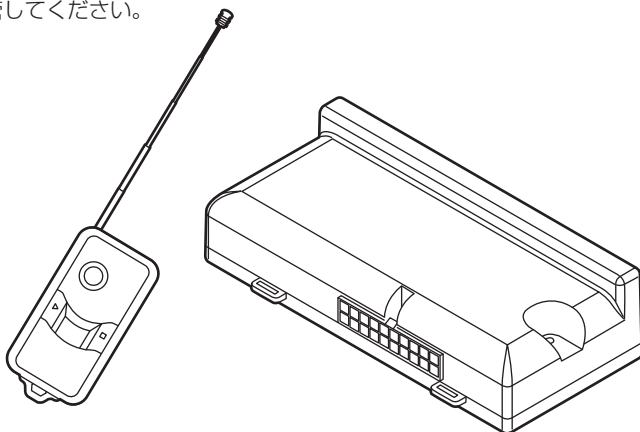


プッシュスタートシステム車専用 双方向リモコンエンジンスターター WR800PS

取扱説明書／保証書

Be Time




この度はリモコンエンジンスターターをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付けおよび操作手順が説明されております。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。また読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。



⚠ 注意

初期設定および動作確認を行わないと本製品で**エンジン**は始動しません。
取付けた時や車両バッテリーを交換・取外した時は必ず、初期設定および動作確認 (⇒P14～15) を行なってください。

本書の見かた

⇒PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
OP	別途オプションが必要なことを表します。
	リモコンのLEDランプの点灯を表します。
	リモコンのLEDランプの点滅を表します。

COMTEC

P-Ver.1 807011

はじめに

取付け

オプションの取付け

リモコンの使用方法

機能設定

付録

目次

●ご使用上の注意	3～5
●梱包内容と各部の名称	6
●ご使用の前に	
・リモコン電池交換のしかた	7
・スリープ機能について	7
・電波特性（電波飛距離について）	8
●取付け	
・接続全体図	9
・取付け上の注意	10
・アース端子の接続	11
・車両接続ハーネスの接続	12
・車両接続ハーネス 20Pコネクターの接続	13
・初期設定および動作確認	14～15
・動作確認対処方法	16
・動作不良エラー確認表	17
・メインユニットの固定	18
・各種ハーネス配線の保護	19
●オプションの取付け	
・対応オプションの取付け場所	20
●リモコンの使用方法	
・エンジンを始動させる	21～22
・エンジンを停止させる	22
・ドアロック/アンロックの操作方法	23
・オートロック機能について	23
●機能設定	
・各種設定を変更する	24～26
・アイドル時間/オートロック/周波数切替	
・オールリセット（初期設定）する	27
・アンサーバック音を切替える	27
●付録	
・WR800PS リモコンのIDコードを再登録する	28
・WR800PS リモコンのIDコードを追加で登録する	29
・車両スマートキーの認証登録をする	30
・リモコンの周波数切替	31
・故障かな？と思ったら	32～33
・アフターサービスについて	34
・製品仕様	35
・メモ	36～37
・保証規定	38
・故障・修理内容詳細記入欄	39
・保証書	裏面

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると生じる、または想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。



警告

警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。



注意

注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。



警告

- 本製品の各種ハーネスは必ず市販の絶縁テープを巻いて保護してください。各種ハーネスと車両金属部が接触してショートし、メインユニットの故障、車両ヒューズ切れなどの本体の動作不良になる恐れがあります。また絶縁テープを巻いた各種ハーネスをダッシュボード内(コラムカバー内等)へ収納する際、狭いスペースのため、各種ハーネスと車両金属部が接触してショートしないようにしっかりと固定し十分に気をつけて取付けを行なってください。車両金属部の接触によるショートが原因の本体動作不良または車両や車載品の故障、事故等の付随的損害については弊社では一切責任を負いません。
- 各種ハーネスコネクター接続先は、弊社ホームページの車種別接続図でご確認ください。
- 車両ハーネスコネクター形状が異なる場合や割込み接続ができない場合は、直接接続等無理に接続を行わないでください。車両故障の原因となります。
- 本製品を使用中、万が一車両盗難や車上荒らし等の被害が発生しても弊社では一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 安全上、エアバッグのコネクターは絶対に外さないように充分ご注意ください。また、エアバッグ周辺には本製品の取付けを行わないでください。
- 排気ガス中毒の危険性があるため、換気の悪い車庫や屋内での使用はしないでください。
- ボディカバーを掛けたままの使用はしないでください。
- 火災の危険性があるため、燃えやすい物の近くでは使用しないでください。
- アイドリングの直後や本製品作動中にエンジン点検等を行うと、火傷をする恐れがありますので、エンジンルーム内を充分に冷ましてから行ってください。
- お子様やペットを車に乗せたままでは、絶対に使用しないでください。
- リモコンはお子様の手の届かない場所に大切に保管してください。
- プッシュスタートシステム車以外には本製品の取付けはできません。
- マニュアルミッション車には本製品を取付けしないでください。事故になる危険性があります。
- 本製品のハーネスから他の電装品の電源やACC電源を取らないでください。車両故障や車両ヒューズ切れ、本製品の故障および動作不良の原因となります。
- 取付けの安全上、お客様自身での取付作業に関するご質問、お問合せ情報開示、サポート等に関しては一切お答えできません。あらかじめご了承ください。
- バッテリーの取外し、取付けする際、バッテリー固定金具やバッテリー端子取付け用ナットは工具を使ってしっかりと締め付けて固定してください。不適切な取付けを行なうと車両火災の原因になります。

ご使用上の注意

注意

- 本製品は日本国内のみ使用できます。海外では使用しないでください。
 - リモコンのケースやアンテナを手等で包み込むと電波の飛距離が短くなります。
 - 本製品にはターボタイマー機能はありません。
 - ターボタイマー(スターター含む)や盗難警報機との併用取付けはできません。
 - 本機作動中は、車の仕様によりキーレスエントリーシステムまたはワイヤレスドアロックが作動しない事があります。リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
 - 本製品作動中、オートポジションステアリングおよびドライビングポジショニングシステムが作動しない事があります。リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
 - スターターを使用する時は、車のオートライト機能をOFFにして使用してください。
 - 公道でエンジンをかけたまま車両を無人で放置すると、道路交通法違反となります。必ず私有地でご使用ください。(公道とは、公共施設・スーパー・月極等の駐車場や河川敷・神社の境内等、不特定多数の車が出入りできる場所を含みます)
 - 一部車両にてエンジンスターター作動中、エアコンなどの電装品が使用できない場合がありますが、故障ではありません。
 - 本製品は防水加工されていません。雨、雪、水等のかかる場所や濡れた手でのご操作は避けてください。リモコン内部に水分が浸入した場合、故障の原因となり修理不可となる事があります。
- ※急激な温度変化による結露や汗をかいた手で触ったり、ポケット等に入れた状態で雨や汗による蒸れ等によって内部に水分が浸透する恐れがありますのでご注意ください。

※本機取付け後にエンジン始動および停止した時、メインユニットからブザー音が鳴ることがありますが、異常ではありません。

電波法について

- リモコンケース裏面の技術基準適合証明ラベルは剥がさないでください。このラベルを剥がすと技術基準適合機として認められなくなるので、必ずラベルが貼られた状態で使用してください。
- 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用すると電波法により罰せられることがあります。

⚠️ プッシュスタートシステム車両の仕様上、下記の様な制限があります。

エンジンスターターでのエンジン始動

- 下記のような場合、本製品でエンジン始動できません。
 - ・ ドアが開いている場合（車種によってはトランクも含まれます）
 - ・ フットブレーキが踏まれた状態
 - ・ 車幅灯やヘッドライト点灯時
 - ・ オートライト機能が ON の状態

また、本製品でアイドルリング中に上記の状態になった場合は、エンジンを停止します。
(本製品を使用にする場合は車両のオートライト機能を OFF にしてください)

- 車両に乗り込むときは必ずエンジンが停止します。車を運転するには手でエンジン始動が必要となります。
- スイッチイルミネーションが点灯中は本製品でエンジン始動することができません。(スマートキーを携帯して車両に近づいたり、エンジン停止時やドアを閉じた後等)
- イルミネーションコントロール機能（メーター照明の明るさを調整する機能）付きの車両はイルミネーションの明るさ調整を最大（明るく）にしてください。暗く調整しているとドアオープン等によるエンジン停止機能が作動しない恐れがあります。イルミネーションの明るさ調整を最大にできない場合はオプション SS-051「カーテシセンサー（複数線）」配線を行なってください。

純正スマートキーおよびスマートエントリーシステム

- 本製品によるアイドルリング中は、純正スマートキーおよびスマートエントリーシステムによるドアのロック、アンロックができなくなります。その場合はスマートキー内蔵のメカニカルキーを使うか、本製品のリモコンでエンジンを停止させてからスマートキーでロック、アンロック操作を行なってください。
- 本製品でのアイドルリング終了後、またはリモコンでのエンジン停止後はドアノブまたはドアノブスイッチでのドアアンロック操作はできません。スマートキーでロック、アンロック操作を行なってください。
※ スマートエントリーシステム、スマートキーについては車両の取扱説明書を参照ください。

その他

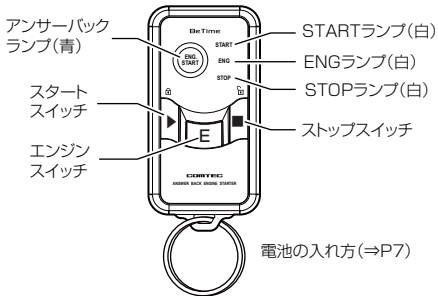
- 本製品でエンジン始動時、車両のストップランプが約 5 秒間点灯します。
- 本製品でのアイドルリング終了時、スイッチイルミネーションが点灯し、自動消灯します。
- 純正のオートアラーム装備車には取付けできますが、G-Security 装備車には取付けできません。オートアラームは IGON にてセキュリティ解除となるため、リモコンエンジンスタートにて同時に解除されますので誤動作いたしません。なおアイドルリング終了後、オートアラームは自動復帰しません。
- 弊社製カーセキュリティとの連動はできません。

⚠️ 注意

本製品取付け後、メーカーオプション「キーインテグレートドウォッチ（時計型）」、「ウェルジュ（ハート型）」等、スマートキーを追加するとリモコンでエンジン始動できなくなります。その場合、「車両スマートキーの認証登録をする（⇒P30）」を行なってください。

梱包内容と各部の名称

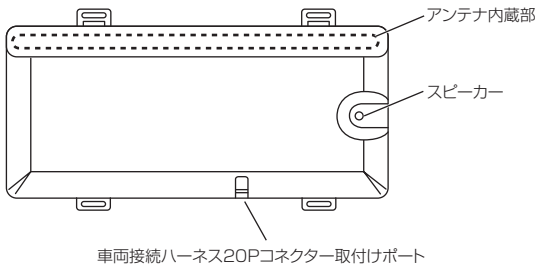
■リモコン(1個)



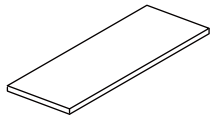
作動内容	操作方法
エンジンスタート	E → ▶
エンジンストップ	E → ■
車両ドアロック※	▶ → ▶
車両ドアアンロック※	■ → ■
アンサーバック音切替え	▶ + ■ 5秒長押し

※オプション接続時

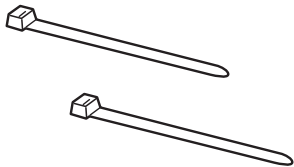
■メインユニット(1個)



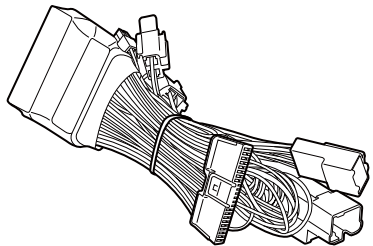
■両面テープ(1枚)



■インシュロック(2本)



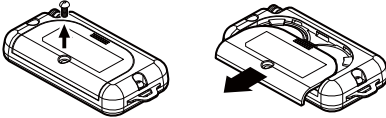
■車両接続ハーネス(1個)



リモコン電池交換のしかた

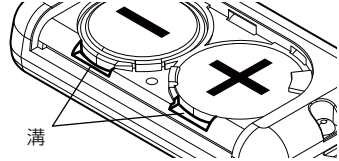
電池は下図の手順にしたがって、+/-の向きを間違えないように交換してください。
 ※電池カバーを取付けていないとリモコンの電源は入りません。ご注意ください。

1 プラスドライバーでネジを取外し、電池カバーを矢印の方向へスライドさせ取外します。



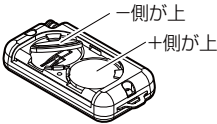
※電池カバーを外す時に、ケースやカバーに傷をつけないよう十分注意してください。

2 下図の溝に細い棒などを入れ、古い電池を取り出します。

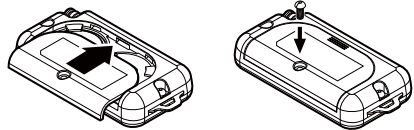


※無理に電池を外すとツメが折れるので注意してください。

3 新しい電池(CR2025 × 2 個)を、電池の極性+、-に注意して挿入します。



4 最後に電池カバーを矢印の方向からスライドさせ、ネジを取り付けます。

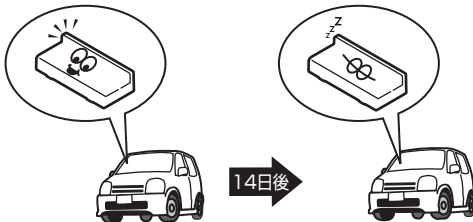


⚠ 注意

- ・指定電池 (CR2025) 以外は使用しないでください。
- ・電池寿命の目安は、新品の電池で1日2回の操作で約半年です。
 ※使用する条件によって異なります。
- ・工場出荷時はテスト用の電池をセットしていますので電池自体が自然放電して電池寿命が約半年間を下回る場合があります。

スリープ機能について

車を使用しない状態が14日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。スリープ機能が働くと、本機によるエンジン始動はできません。スリープ機能を解除する時は、1度手動でエンジンを始動させてください。



本製品を長期間使用しない時は、リモコンの電池を抜くことをお奨めします。

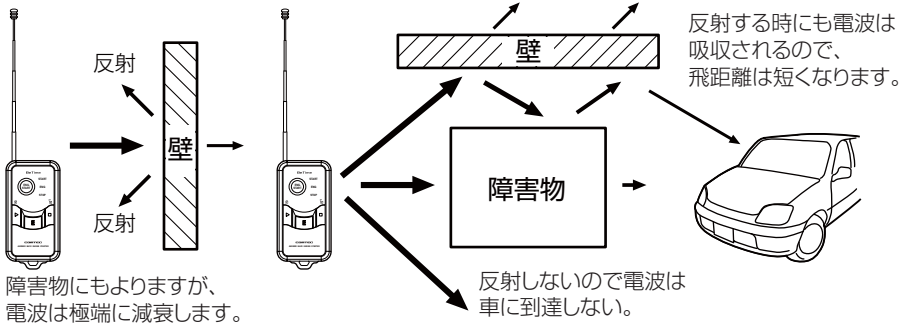
👉 アドバイス

車のバッテリー交換を行った場合は再度、初期設定および動作確認(⇒P14~15)を必ず行ってください。

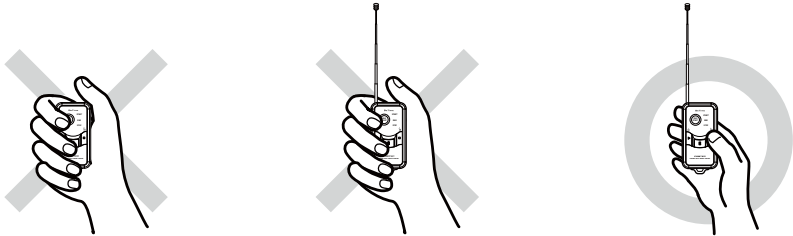
ご使用の前に

電波特性(電波飛距離について)

- ・鉄筋コンクリートの壁や、トタン等電気を通す障害物が車とリモコンの間にあると極端に到達距離が短くなります。(電波が障害物によって反射する)
- ・電波は直進しかしません。ただし反射しながら飛ぶ場合があります。車が直接見えていなくてもまわりに反射できそうな壁・建物等があれば届くことがあります。逆に車との間に障害物があった場合まわりに反射できる壁・建物等がなければ届きません。



・リモコンを操作する時は、電波送受信の安定性を確保するために、下記のように操作してください。

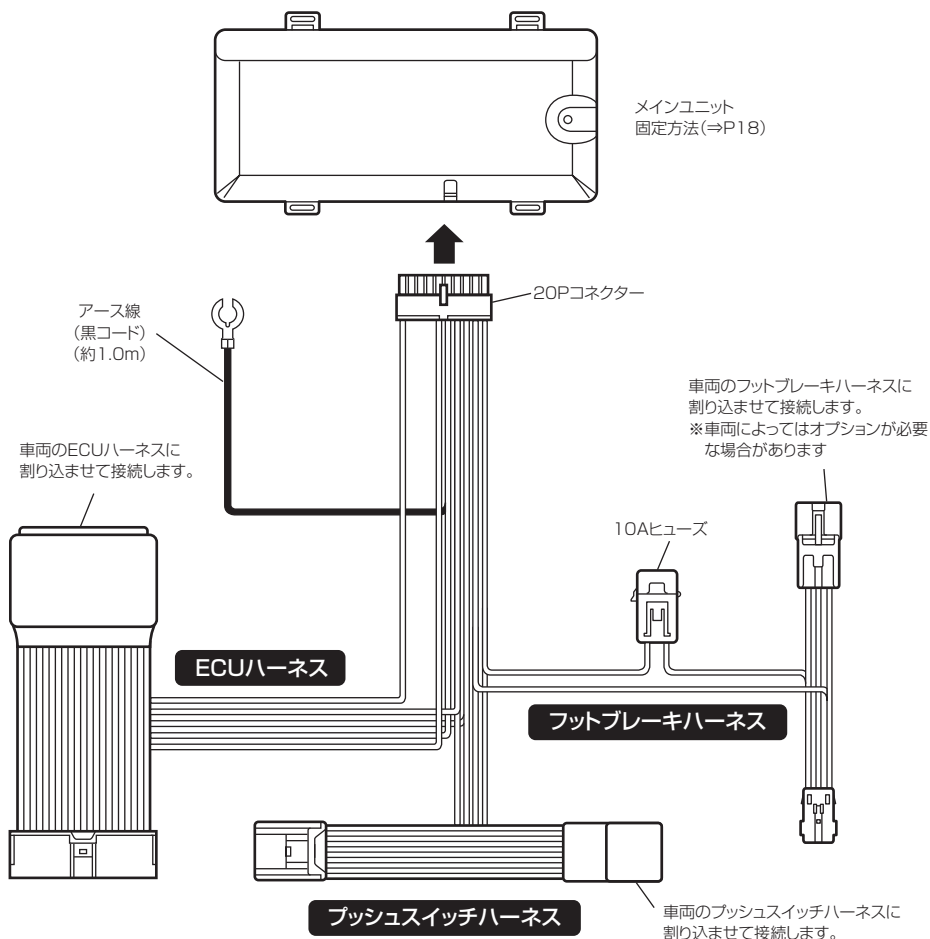


- アンテナを伸ばさずに操作すると電波の受信距離が短くなります。
- ケースやアンテナを、手で包み込まないよう操作してください。
- リモコンは垂直に立てて操作してください。

接続全体図

⚠ 注意

アース線(黒コード)を車両ボディアース部またはフレームのビスへ確実に取付けされていない場合、メインユニットに電源が入らず初期設定および動作確認(⇒P14~15)が出来ませんのでご注意ください。



取付け

取付け上の注意



注意

取付けには専門知識が必要です。取付けはお買い上げの販売店又は、カーディーラーにご依頼ください。お客様ご自身で取付けられた場合は、保証が受けられません。

◆取付ける前に下記の点に注意して、本製品の取付けを行ってください。

カーテシセンサー配線について

ドアを閉めヘッドライトを消しエンジンを始動した時に右図、車両プッシュスタートスイッチのスイッチイルミネーションが点灯したままになる車両(トヨタIQなど)は必ずオプション「SS-051カーテシセンサー(複数線)」を使用してカーテシ配線を行なってください。配線をしないとスターターのリモコンでエンジンが始動しません。

※オートロック機能を設定1(⇒P25)にした場合も必要になります。

※カーテシ配線接続場所については当社ホームページ(⇒P20)「車種別適合表」で確認ができます。

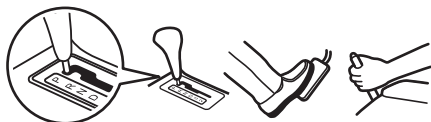


作動表示灯

スイッチイルミネーション
※スイッチイルミネーションとはエンジンスイッチの文字部分の照明のことです。

シフトレバーとパーキングブレーキ(サイドブレーキ)について

シフトレバーをP(パーキング)にして、パーキングブレーキ(サイドブレーキ)を確実にかけ、車両電源をOFFにします。



取付けに必要な工具等

- ・サーキットテスター
- ・スパナまたはボックスレンチ
- ・ドライバー(+)
- ・保護テープ
- ・絶縁テープ
- ※その他の工具が必要になる場合があります。

配線について

ダッシュボード内(コラムカバー内等)へ収納する際、各種ハーネスと車両金属部(コラムシフトレバー可動部、ステアリング可動部、ペダルのスプリング、その他鉄板等)が接触してショートしてしまいメインユニットのヒューズ切れや故障または車両ヒューズ切れなど本体の動作不良となりますので、必ず市販の絶縁テープを貼って保護し、各種ハーネスと車両金属部が接触しないように取付けを行ってください。

コラムシフトレバー



絶縁テープ

コラムシフトレバー可動部

絶縁テープ



スプリング

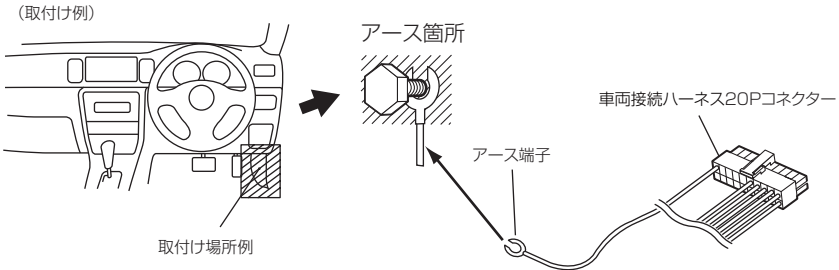
アース端子の接続

⚠ 取付けは**必ずバッテリーを外した状態**にして取付けてください。

⚠ 注意

- ・バッテリーを外すとオーディオ・ナビゲーション・時計等がリセットされます。
- ・純正ナビゲーションにパスワードが設定されている場合はパスワードを解除してからバッテリーを外してください。解除しないとバッテリーを接続した時にパスワードを入力する必要がありパスワードがわからないとナビゲーションが使用できなくなります。

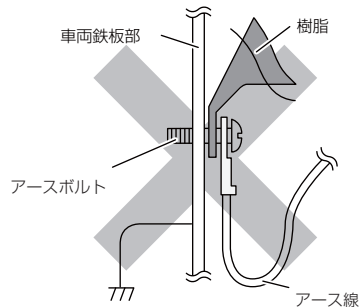
1 車両バッテリーを外し車両接続ハーネス20Pコネクターのアース端子(黒コード)を、塗装されていないボディまたはフレームのビスへ確実に共締めしてください。



⚠ 注意

- ・アースボルトとアース線の間に樹脂などを挟んでいる(右図)と初期設定および動作確認が行えないため、車両鉄板部に確実に共締めしてください。
- ・取付け手順通り(⇒P11～13)に接続を行わないとメインユニットから接続確認メロディ「ドレミファソラシド」が鳴らない場合があり、初期設定および動作確認を行なうことができません。必ず取付け手順に従って取付けを行ってください。

NG取付け例



取付け

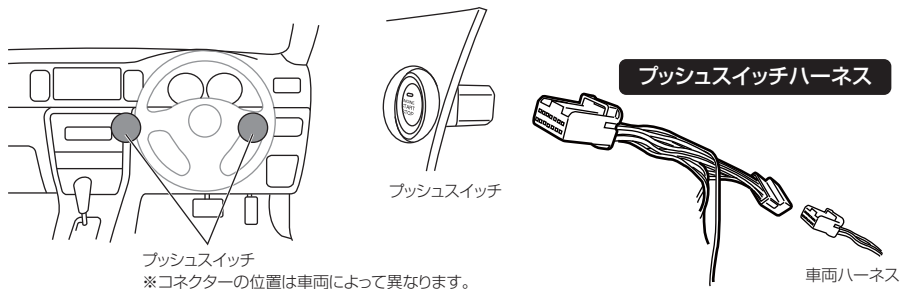
車両接続ハーネスの接続

⚠ 取付けは**必ずバッテリーを外した状態**にして取付けてください。

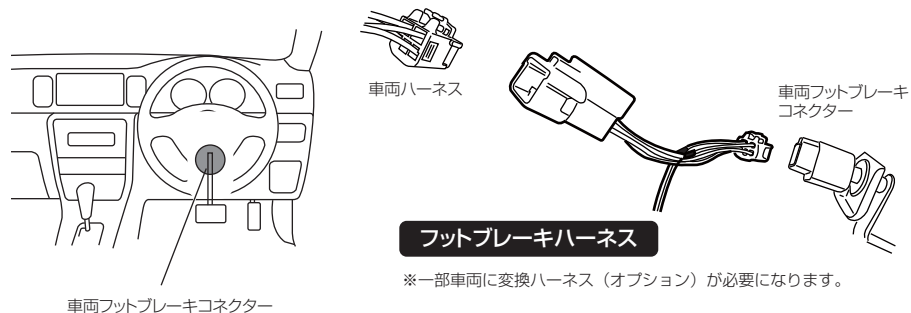
2 車両のECUユニットにECUハーネスを割り込ませて接続してください。



3 車両のプッシュスイッチコネクタ（プッシュスイッチ裏側）にプッシュスイッチハーネスを割り込ませて接続してください。

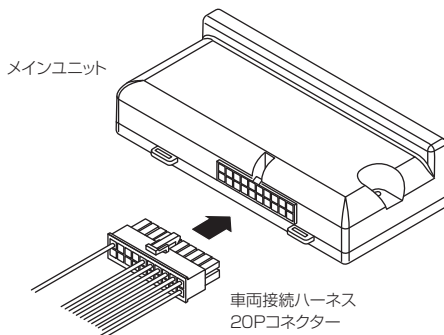


4 車両のフットブレーキコネクタ（フットブレーキ付け根付近）にフットブレーキハーネスを割り込ませて接続してください。



車両接続ハーネス 20Pコネクターの接続

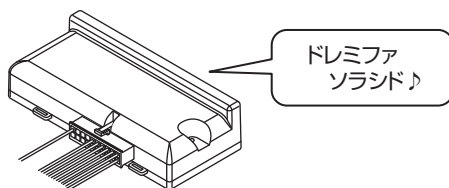
- 5** 外した車両のバッテリーを接続後(元に戻す)車両接続ハーネスの20Pコネク터를メインユニットにしっかりと差込んでください。



注意

バッテリー固定金具やバッテリー端子取付け用ナットは工具を使ってしっかりと締め付けて固定してください。不適切な取付けを行なうと車両火災の原因になります。

- 6** **5**の接続が終わると、メインユニットから接続確認メロディ「ドレミファソラシド」が鳴ります。



※メインユニットから接続確認メロディ「ドレミファソラシド」が鳴らない場合は、再度 **1**～**5**の取付けおよび接続を再確認してください。

取付け

初期設定および動作確認

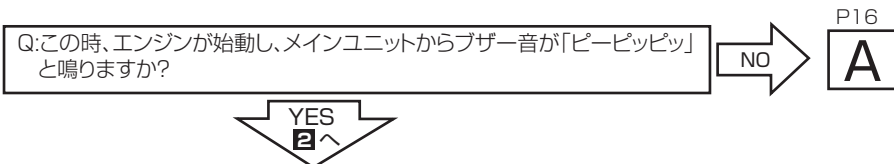
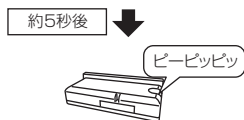
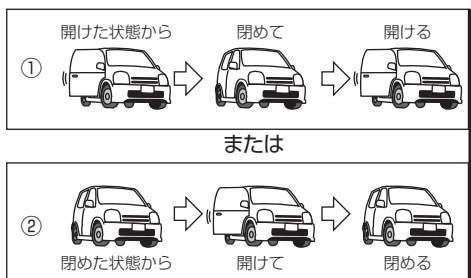
⚠ 事前確認事項

- ・ P11~13の取付け及び接続後、接続確認メロディ音「ドレミファソラシド」を確認してから必ず下記の動作確認を行ってください。
(アース線 黒コードの取付け・固定を忘れないでください)
- ・ 車のバッテリー交換や、本製品の付け替えなどでバッテリーや車両接続ハーネスを取りはずした場合は必ず下記の初期設定および動作確認を行なってください。
またメインユニットからエラー音が鳴らず全くリモコンが反応しない場合は「リモコンのIDコードを再登録する」(⇒P28)を行ってください。
- ・ 動作確認前に安全のため、必ずサイドブレーキをかけてください。
- ・ 下記の手順に従って動作確認を行ってください。対処方法はP16を参照してください。

初期設定および動作確認手順

※下記操作を行わないとリモコンでエンジン始動できません。

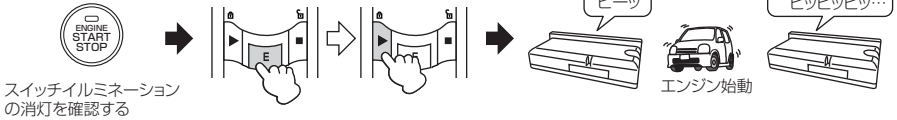
- 1** 純正のスマートキーを車内に持ち込み車両のドアを《① 開けた状態から閉めて→開ける》または《② 閉めた状態から開けて→閉める》動作を行なった後、手でエンジン始動させます。アイドルしている状態で約5秒後にメインユニットからブザー音「ピーピーッ」と鳴ります。



- 2** プッシュスイッチを押し、エンジンを停止します。



- 3** 全てのドアを閉めスイッチイルミネーションが消灯するのを確認し、純正のスマートキーを車から離れた場所（5m以上）へ移動させた後、リモコンのエンジンスイッチ（E）を押し、リモコンのENG ランプ（白）が点滅している間にスタートスイッチ（▶）を押してください。
※この時エンジンスターターの使用制限がありますので注意が必要です。（P5 参照）



スイッチイルミネーションの消灯を確認する

エンジン始動

Q:この時、エンジンが始動しますか?

NO

P16

B

YES

4へ

- 4** エンジンスターターでエンジン始動中にドアを開けてエンジンが停止することを確認してください。（作動停止エラー音「ブーブブブッ、ブーブブブッ」が鳴ります）



エンジン停止

Q:この時、エンジンが停止しますか?

NO

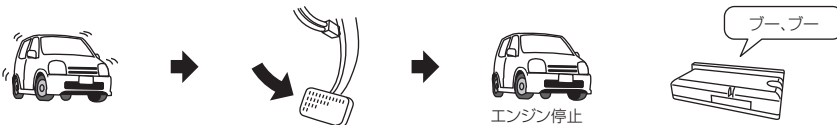
P16

C

YES

5へ

- 5** その後車内に入り、全てのドアを閉めてスイッチイルミネーションが消灯するまで待ってから、再度エンジンスターターでエンジン始動し、アイドリング中にフットブレーキを踏んでエンジンが停止することを確認してください。（フットブレーキ検出エラー音「ブー、ブー」が鳴ります）



エンジン停止

Q:この時、エンジンが停止しますか?

NO

P16

D

YES

全ての動作は正常です

取付け

動作確認対処方法

下記の[A]～[C]の各対処方法を行った場合は、再度動作確認P13 [E]から始めてください。

- [A]**
1. 車両接続ハーネスの配線場所が違っていませんか？ (⇒P12～13)
 2. メインユニットに20Pコネクタが接続されていますか？
 3. ECUハーネス、ブッシュスイッチハーネス、フットブレーキハーネスの各コネクタは確実に接続されていますか？
 4. 車両ストップランプのヒューズは切れていませんか？
(フットブレーキを踏んでストップランプが点灯していない状態)
→車両ストップランプのヒューズを交換してください。
 5. アース端子は確実に接続されていますか？
→アース端子をしっかり取付けしてください。 (⇒P11 [I]参照)

- [B]**
1. 車両状態が ACC、イグニッション ON の状態ではエンジンスターターでエンジン始動できません。
 2. ドアが開いていませんか？ (車種によってはトランクも含まれます)
 3. フットブレーキが踏まれた状態になっていませんか？
 4. 車幅灯やヘッドライトが点灯していませんか？
 5. オートライト機能 (暗くなると自動でライトが点灯する機能) が ONI になっていませんか？
 6. スイッチイルミネーションが点灯していませんか？
(スマートキーを携帯して車両に近づくとスイッチイルミネーションが点灯します)
 7. 車両スマートキーでエンジン始動中 (ヘッドライト OFF、ドア閉めた状態) にスイッチイルミネーションが点灯したままではないですか？
→オプション「SS-051カーテシセンサー(複数線)」を取付けてください。 (⇒P10)

- [C]**
1. 各種コネクタの接続を確認してください。
 2. イルミネーションコントロール機能 (メーター照明の明るさを調整する機能) を暗く調整していませんか？一番明るくなるように設定してください。イルミネーションの明るさ調整を最大にできない場合はオプションSS-051「カーテシセンサー(複数線)」配線を行なってください。(装備車のみ)

- [D]**
1. フットブレーキハーネスがしっかり接続されているのを確認してください。

動作不良エラー確認表

メインユニットからブザー音を鳴らすことで、本製品の作動状態やエラーを確認することができます。

No.	ブザー音	名称	内容／解除方法
1	ブー、ブー ○ ○	フットブレーキ 検出エラー	本製品作動中にフットブレーキを踏んだ時の状態です。 対策 フットブレーキハーネスの接続を確認してください。(⇒P12 4)
2	ブーブッブッ、 ○○ ○ ブーブッブッ ○○ ○	リモコンID 未登録	リモコンでIDコード登録してください。(⇒P28)
3	ブッブブブー、 ○ ○ ○○ ブッブブブー ○ ○ ○○	エンジン始動 未検出エラー	車両スマートキーでもエンジン始動できない可能性があります。 対策 車両スマートキーでエンジン始動できる状態にしてからスターターの操作を行なってください。 △注意! 外気温が低い時や、バッテリーの状態によってエンジンがかかりにくいことがあります。 ----- イモビライザーの認証ができていない可能性があります。 対策 スマートキーを交換、追加、修理等した場合は「車両スマートキーの認証登録をする(⇒P30)」を行なってください。
4	ブーブッブッブッ、 ○○ ○ ○ ブーブッブッ ○○ ○ ○	作動停止 エラー	リモコンでエンジン始動させた時、下記の状態になった場合。 ・ドアが開いている場合(車種によってはトランクも含まれます) ・車幅灯やヘッドライト点灯時 ・オートライト機能(ライト自動点灯/消灯機能)がONの状態 ・スイッチイルミネーションが点灯中 (スマートキーを携帯して車両に近づくとスイッチイルミネーションが点灯します)または、エンジンスターターでアイドリング中に上記の状態になった場合。 対策 上記の状態になっていないか確認してください。
5	ブッブッブッブッ、 ○○ ○ ○ ○ ブッブッブッ ○○ ○ ○ ○	初期設定 車両情報 未検出エラー	初期設定ができていない可能性があります。 対策 「初期設定および動作確認(⇒P14)」を行なってください。

※ ○は約0.2秒を示します。○は約1秒を示します。○は約2秒を示します。

※再度エラーブザー音を確認したい場合は、リモコンで「エンジンを停止させる」(⇒P22)操作を行なってください。

取付け

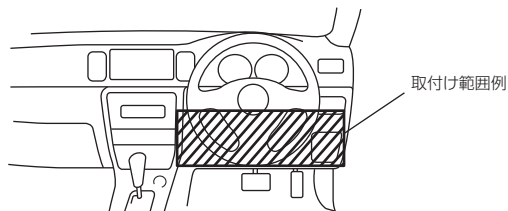
メインユニットの固定

⚠ 注意

- ・メインユニットの固定：配線を行う前に、初期設定および動作確認を行ってください。(⇒P14～15)
- ・安全上エアバッグ周辺には本製品の取付けは行わないでください。
- ・以下の場所への取付けは避けてください。

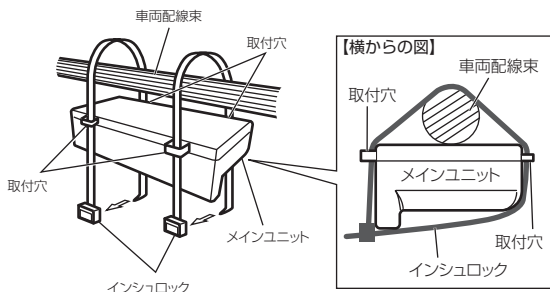
○エアコンやヒーター等の熱風又は水滴を受ける場所 ○直射日光の当たる場所 ○不安定な場所 ○運転の妨げになる場所

運転の妨げにならない場所に、付属インシュロックまたは、市販の両面テープでしっかりと固定してください。



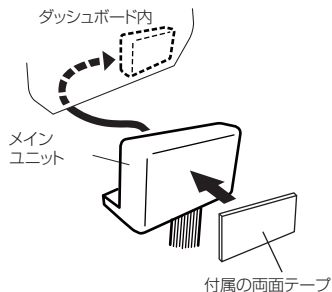
付属インシュロックを使って車両に固定する場合

メインユニットの取付穴4箇所について付属のインシュロックを通して車両の配線束等にメインユニットを固定してください。

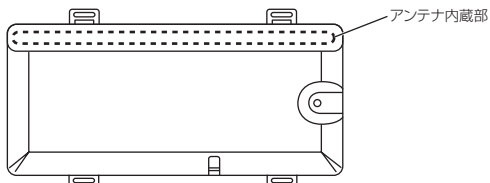


付属の両面テープで固定する場合

メインユニットをダッシュボード内の平らな場所に貼ります。



※メインユニットの内蔵アンテナ部を**車両金属部分から5cm以上離して**固定してください。通信距離が短くなったり、通信が不安定になることがあります。

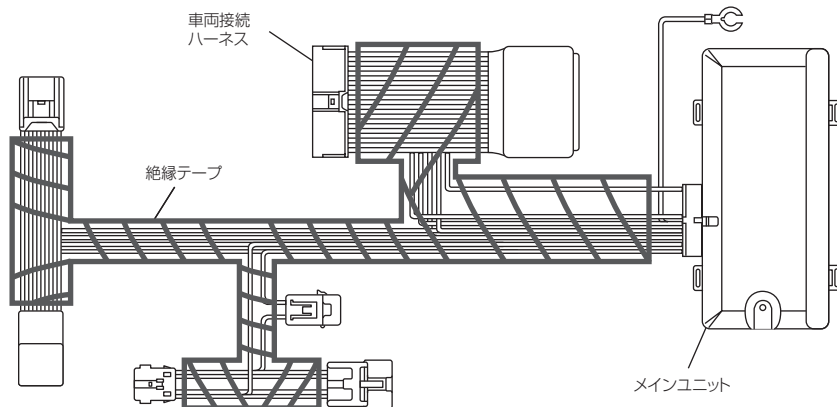


各種ハーネス配線の保護

全ての動作が正常と確認できたら、各種ハーネスに市販の絶縁テープを巻いて、ハーネスの保護を必ず行ってください。

⚠ 注意

車両接続ハーネスに必ず市販の絶縁テープを巻いて、保護をしてください。
 各種ハーネスと車両金属部(コラムシフトレバー、ステアリング、ペダル可動部等、その他鉄板など)が接触してショートし、メインユニットのヒューズ切れやメインユニットの故障、車両ヒューズ切れなどの本体の動作不良になる恐れがあります。
 また、絶縁テープを巻いたハーネスをダッシュボード内(コラムカバー内等)に収納する際、狭いスペースのため、各種ハーネスと車両金属部がショートしないよう気を付けて取めてください。



各種ハーネス配線と車両金属部の接触によるショートが原因の本体動作不良又は、車両故障に関しては当社で一切責任を負いません。

オプションの取付け

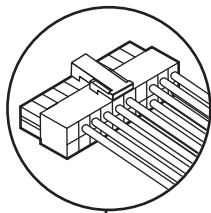
対応オプションの接続場所 **OP**

本製品は以下のオプションが取付けできます。

Be-970[ドアロック配線キット]…本製品のリモコンでドアロック/アンロック動作させることができます。
 SS-051[カーテシセンサー(複数線)]…ドアの開け閉めを検出してエンジン停止、オートドアロックを解除します。

※取付け車両によってカーテシセンサーの配線が必ず必要になる場合があります。(⇒P10)

※Be-970[ドアロック配線キット]内の「カーテシ線(青)」と「ドアポジション線(桃)」は使用しません。



20Pコネクタ

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	上側
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	下側

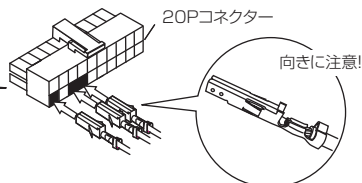
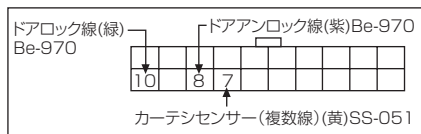
※線側から見た図

20Pコネクタ接続内容

NO.	内容	NO.	内容
1		11	
2		12	使用済み
3	使用済み	13	
4		14	未使用
5		15	
6	未使用	16	
7	カーテシセンサー(複数線)	17	使用済み
8	ドアアンロック配線	18	
9	未使用	19	
10	ドアロック配線	20	未使用

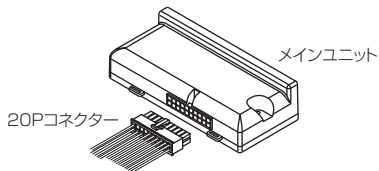
オプション接続方法

1 20Pコネクタをメインユニットから外し下記図の向きにオプション配線を差し込みます



※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。

2 メインユニットに20Pコネクタを差し込んでください。



※20Pコネクタを差し込んだ後、再度初期設定および動作確認を行なってください。(⇒P14~15)

車両への配線箇所、車両適合は当社ホームページ「車種別適合表→車種別接続図」で確認ができます。

※一部オプションの配線ができない車両、配線資料が無い場合があります。

コムテックホームページアドレス <http://www.e-comtec.co.jp/index.html>

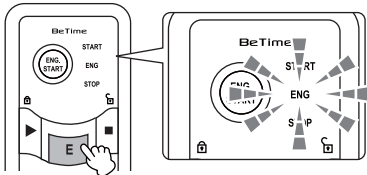
エンジンを始動させる

リモコンで下記の動作を行うとエンジン始動できます。エンジン始動後、設定したアイドリング時間(⇒P25)が過ぎると自動的にエンジンを停止します。

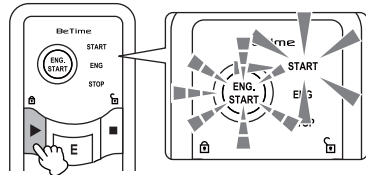
⚠ 注意

- ・リモコン操作する時はアンテナを伸ばしてください。伸ばさないと著しく電波飛距離が短くなります。
- ・電池を交換した時は必ずリモコンのLEDランプが点滅・点灯することが確認してください。
- ・リモコンでエンジンを始動する時に、車のオートライト機能を「AUTO」にしている場合、エンジン始動と同時にヘッドライトが点灯したままになることがあります。必ずオートライト機能を「OFF」にしてから、リモコンでエンジン始動を行ってください。
- ・車から発生するノイズの影響でエンジン始動より、エンジン停止させる方が通信距離が短くなる場合があります。
- ・同じ周波数帯の電波が周辺に出ている場合は、リモコンの送信の後「プッププッ」と鳴り送信ができていません。再度リモコンで操作してください。

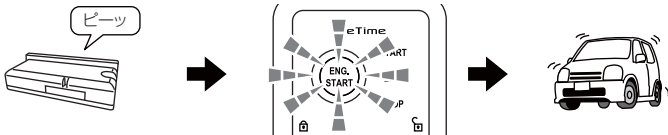
1 エンジンスイッチ (E) を押し、ENG ランプ (白) を点滅させます。



2 ENG ランプ (白) が点滅中にスタートスイッチ (▶) を押し、アンサーバックランプ (青) が点滅し、START ランプ (白) が点灯します。



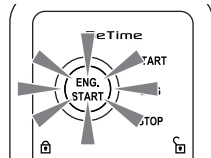
3 メインユニットがリモコンからの電波を受信すると、下記のような動作をしエンジンが始動します。
 ・メインユニットからブザー音が「ピーツ」と1秒間鳴ります。
 ・リモコンのアンサーバックランプ (青) がゆっくり点滅します。



※ メインユニットがリモコンからの電波を受信できなかった場合は、リモコンのアンサーバックランプ (青) は点滅しません。(アンサーバック音をメロディまたは、ブザーに選択されている場合は、NG 音が鳴ります)

※ 最初の 2 回または 3 回以降エンジンが始動しない場合は初期設定ができていませんので「車両スマートキーの認証登録をする(⇒P30)」を行なってください。

4 エンジンが始動すると、メインユニットがリモコンへエンジン始動の確認電波 (アンサーバック信号) を送ります。※ 1 リモコンが電波 (アンサーバック信号) を受信すると、リモコンのアンサーバックランプ (青) が点灯します。※ 2 エンジン始動しなかった場合はリモコンへのアンサーバック NG 音は鳴りません。



※ 1 トライでエンジンを始動した時は、リモコンへの電波 (アンサーバック信号) は送信されません。

※ 2 一部車両でエンジン始動時の電気ノイズや場所によっては、周囲の電波の影響を受けて、アンサーバックランプ (青) が点灯 (アンサーバック) しないことがあります。

※ 場所によって、周囲の電波の影響を受けて通信距離が極端に短くなる場合があります。また、車両電気ノイズの影響でエンジンを始動させるより、エンジンを停止させる方が短くなります。

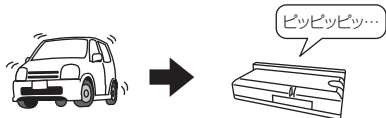
※ エンジン始動しているか再度確認する場合は **1** ~ **2** のリモコン操作を再度行なってください。

エンジンがかかっていれば、アンサーバックランプ (青) が点灯します。

エンジンがかかっていなければ、再びエンジン始動を行います。

リモコンの使用法

5 エンジン始動後、アイドリングを開始するとメインユニットからブザー音が「ピッピッピッ…」と連続して鳴ります。



※アイドリング中のブザー音は消音できません。

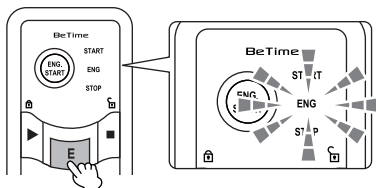
6 リモコンでエンジン始動中にドアを開けるとエンジンが停止しますので車に乗り手でエンジンを再始動してお乗りください。



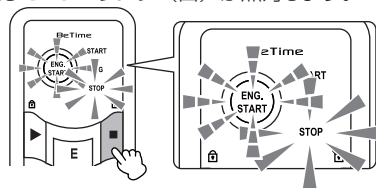
エンジンを停止させる

リモコンでエンジン始動中に下記の動作を行うとエンジンを停止します。

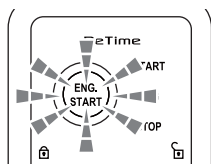
1 エンジンスイッチ (E) を押し ENG ランプ (白) を点滅させます。



2 ENG ランプ (白) が点滅中にストップスイッチ (■) を押し、アンサーバックランプ (青) が点滅し STOP ランプ (白) が点灯します。



3 メインユニットがリモコンからの電波を受信するとリモコンのアンサーバックランプ (青) が点滅しエンジンが停止します。



※メインユニットがリモコンからの電波を受信できなかった場合は、リモコンのアンサーバックランプ (青) は点滅しません。
(アンサーバック音をメロディまたは、ブザーに選択されている場合は NG 音が鳴ります)

エンジンが始動しているか確認する

エンジン始動しているか再度確認する場合、「エンジンを始動させる」と同じ要領で、リモコン操作を行います。(⇒ P21 ~ 22)

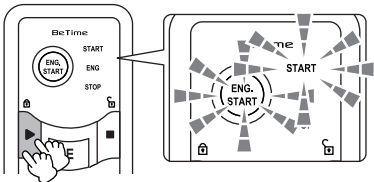
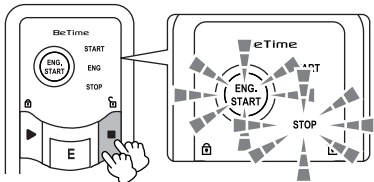
- ・エンジンがかかっている場合、アンサーバックランプ (青) が点灯します。
- ・エンジンがかかっていない場合、再びエンジン始動を行います。

※場所によって、周囲の電波の影響を受けて通信距離が極端に短くなる場合があります。

また車両電気ノイズの影響でエンジンを始動させるよりエンジンを停止させる方が短くなります。

ドアロック/アンロックの操作方法 **OP**

※オプションを取付けドアロック配線をした場合のみ使用できます。

ドアをロックさせる	ドアをアンロックさせる
<p>スタートスイッチ (▶) を 2回押しすると START ランプ (白) が点滅し次にアンサーバックランプ (青) が点滅し車両のドアがロックされます。</p>  <p style="text-align: center;"><u>2回押し</u></p>	<p>ストップスイッチ (■) を 2回押しすると STOP ランプ (白) が点滅し次にアンサーバックランプ (青) が点滅し車両のドアがアンロックされます。</p>  <p style="text-align: center;"><u>2回押し</u></p>

オートロック機能について **OP**

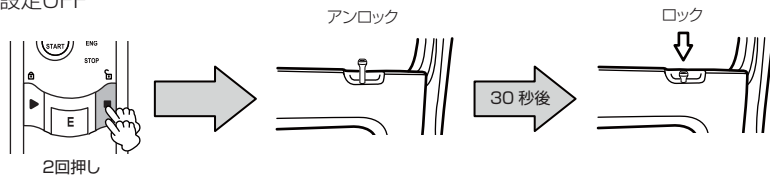


注意

・P25「オートロック」で設定1または2に設定した場合、本機リモコンでドアをアンロックした時に約30秒後にドアが自動的にロックします。キーのインロックをしないように、十分に注意してください。

オートロック機能とは、オートロックの設定を「設定1」または「設定2」にした場合、本機のリモコンでドアをアンロックした後、約30秒後にドアが自動的にロックする機能です。

※初期設定は設定OFF



オートロック機能には下記の3種類の設定(解除)があります。

設定1…リモコンでドアアンロック後、約30秒以内に手動でエンジン始動するか、ドアを開けると、オートロックを解除します。オプションのSS-051「カーテシセンサー(複数線)」が必要です。(⇒P20)

設定2…リモコンでドアアンロック後、約30秒以内に手動でエンジン始動すると、オートロック解除します。(ドアを開けても、オートロックは解除できません。)

設定 OFF…オートロック機能は作動しません。(初期設定)

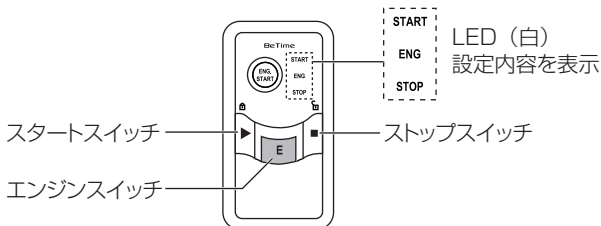
※設定方法の詳細は (⇒ P25)

機能設定

各種設定を変更する

設定モード内で下記の設定を、リモコン操作で変更することができます。

- ①アイドリング時間
- ②オートロック
- ③通信周波数切替



※リモコンを操作する時は、アンテナを伸ばしてください。

⚠ 注意

- ・設定モードで30秒間リモコンスイッチの設定操作を行わないと、タイムアウトになり、リモコンからブザー音が「ブー」と鳴って設定モードが終了します。
なお、この時に変更した設定内容は**全て無効**になります。
- ・設定を変更し、設定登録の操作を行なわないと、変更された設定内容は**全て無効**になります。

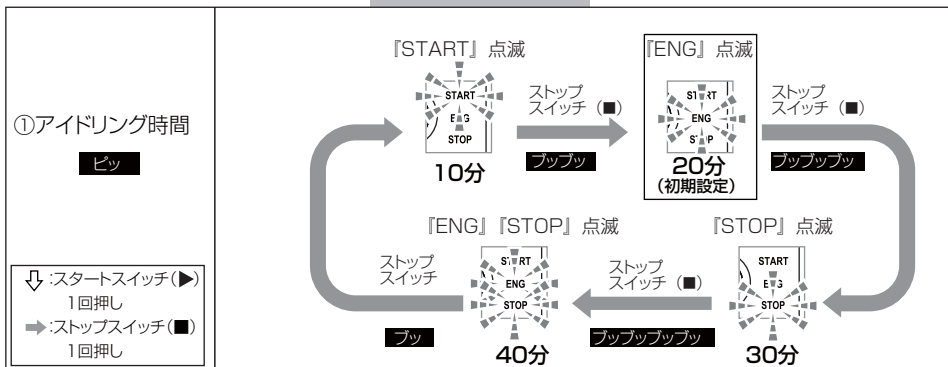
設定開始

エンジンを停止した状態でリモコンのエンジンスイッチ (E) とスタートスイッチ (▶) を **同時に5秒間長押し**すると、リモコンからブザー音が「ピッ」と鳴り、設定モードに入ります。



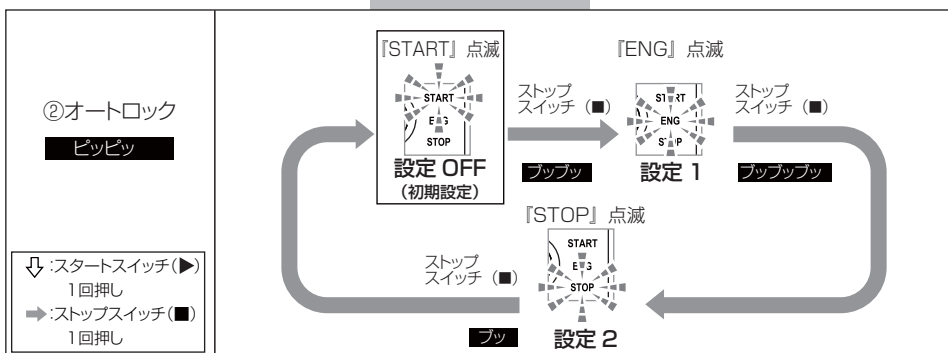
次のページへ

設定モード



↓ スタートスイッチ(▶)

設定モード



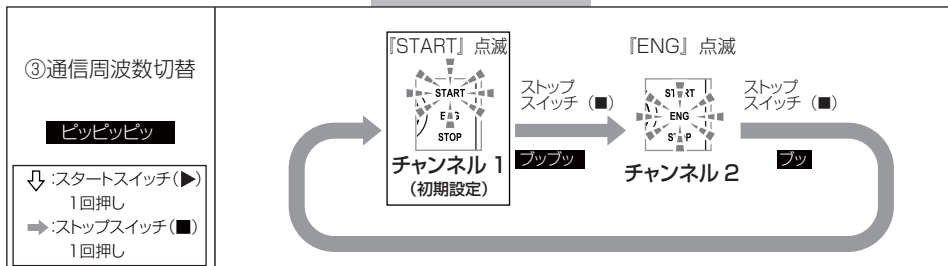
設定1…リモコンでドアアンロック後、約30秒以内に手動でエンジン始動するか、ドアを開けると、オートロックを解除します。オプションSS-051「カーテシセンサー(複数線)」が必要です。(⇒P20)
 設定2…リモコンでドアアンロック後、約30秒以内に手動でエンジン始動すると、オートロック解除します。(ドアを開けても、オートロックは解除できません。)
 設定 OFF…オートロック機能は作動しません。(初期設定)

↓ スタートスイッチ(▶)

次のページへ

設定モード

機能設定



混信・妨害電波・同周波数帯の電波状況等により、通信ができなかったり、アンサーバックがリモコンに戻ってこない等、通信が安定しない場合は通信周波数チャンネルを任意で切替えることによって本機をより安定した電波環境で使用できます。

⚠ 注意

- ・通常は通信周波数を変更する必要はありません。
- ・「設定登録」した時、妨害電波等でリモコンからNG音が鳴り設定登録ができなかった場合メインユニットのみチャンネルが変わり、リモコンは変更できずリモコンが全く動作できなくなります。その場合は「リモコンの周波数切替 (⇒P31)」でリモコンのチャンネルを変更してください。

↓ スタートスイッチ (▶)

①に戻る (⇒P25)

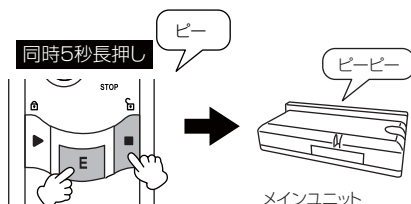
※設定モード完了は「設定登録」へ

設定モード

設定登録 (設定モード終了)

リモコンのエンジンスイッチ (E) とストップスイッチ (■) を同時に 5 秒間長押しすると、リモコンからブザー音「ピー」と鳴りメインユニットからブザー音が「ピーピー」と鳴り設定が登録されます。

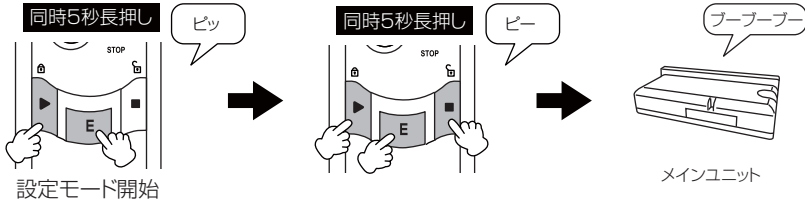
※設定の最後に必ず設定登録を行わないと設定されません。



オールリセット(初期設定)する

リモコンで設定した内容を全て初期設定に戻します。

- 1 設定モード状態 (⇒ P24) でリモコンのエンジンスイッチ (E) とスタートスイッチ (▶) とストップスイッチ (■) を同時に 5 秒間長押しするとメインユニットからブザー音が「ブーブー」と鳴り、全ての機能が初期設定になります。

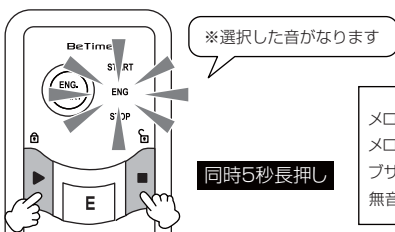


※エンジンスイッチ (E) とストップスイッチ (■) で設定登録作業をする必要はありません。

アンサーバック音を切替える

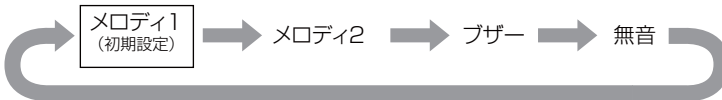
リモコンのアンサーバック音を、メロディ 1 / メロディ 2 / ブザー / 無音の中から選択することができます。(初期設定はメロディ 1)

- 1 スタートスイッチ (▶) とストップスイッチ (■) を同時に 5 秒長押しする度にメロディ 1 → メロディ 2 → ブザー → 無音 の順で切り変わります。



アドバイス

メロディ 1 を選択する場合・・・メロディ 1 が鳴ったら止めます。
 メロディ 2 を選択する場合・・・メロディ 2 が鳴ったら止めます。
 ブザーを選択する場合・・・ブザー音 (ピーツ) が鳴ったら止めます。
 無音を選択する場合・・・ブザー音 (ピーツ) と鳴ったら止めます。



付録

WR800PS リモコンのIDコードを再登録する

◆以下の場合にIDコードを再登録してください。

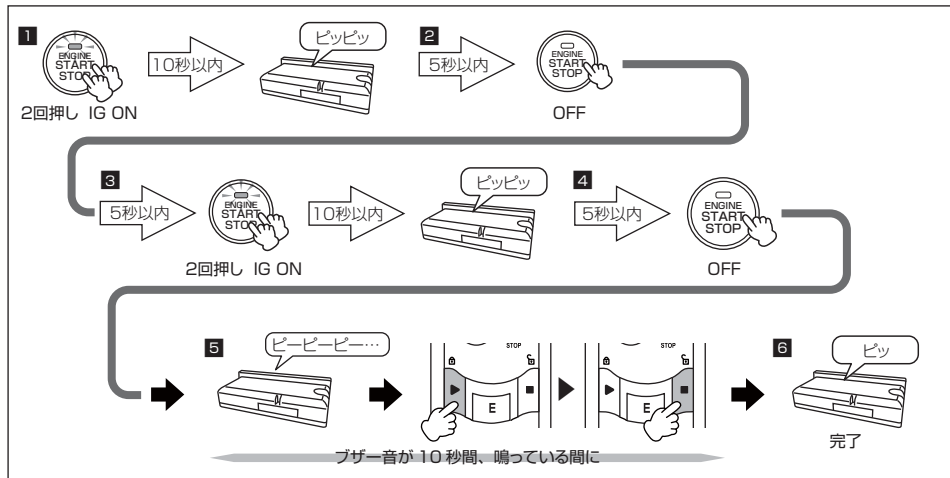
- ①リモコンを紛失または破損し新しいリモコン(別売)を購入した場合。
- ②お客様の車のバッテリー交換や本製品の付け替えなどで、バッテリーを外したり、本製品メインユニット各ハーネス等をはずした時に、リモコン操作で車側が全く反応しない場合。

○IDコードとは・・・

リモコンにはそれぞれ重複しないように「IDコード」が設定されておりメインユニットの「IDコード」と一致しなければ、エンジンを始動させる事ができないようになっています。

■IDコードの再登録方法 ※全てフットブレーキを踏まない状態で操作してください。

- 1 純正のスマートキーを車内に持ち込み、プッシュスイッチを2回押し、IGをONにします。
10秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。
- 2 5秒以内にプッシュスイッチを押し、車両電源をOFFにします。
- 3 5秒以内にプッシュスイッチを2回押し、IGをONにします。
10秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。
- 4 5秒以内にプッシュスイッチを押し車両電源をOFFにします。
- 5 メインユニットからブザー音が10秒間鳴っている間に、リモコンのスタートスイッチ(▶)を押して、リモコンのSTARTランプ(白)が点滅している間に、ストップスイッチ(■)を押してください。
- 6 メインユニットからブザー音が「ピッ」と鳴り、再登録は完了します。



※指定した時間を経過した場合、または順番を間違えた場合は手でエンジン始動後、初めからやり直してください。

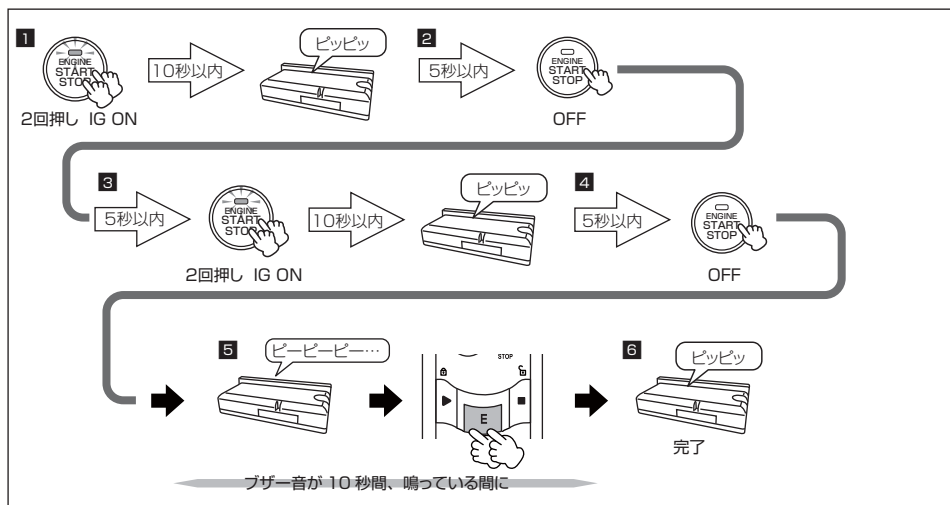
WR800PS リモコンのIDコードを追加で登録する

付属のリモコン以外にもう1つWR800PSのリモコンを追加して2つのリモコンでエンジンスターターの操作ができるようになります。

※別途追加購入したリモコンのみ登録します。

■IDコードの追加登録方法 ※全てフットブレーキを踏まない状態で操作してください。

- 1 純正のスマートキーを車内に持ち込み、プッシュスイッチを2回押し、IGをONにします。
10秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。
- 2 5秒以内にプッシュスイッチを押し、車両電源をOFFにします。
- 3 5秒以内にプッシュスイッチを2回押し、IGをONにします。
10秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。
- 4 5秒以内にプッシュスイッチを押し車両電源をOFFにします。
- 5 メインユニットからブザー音が「ピーピーピー…」と10秒間鳴っている間に、リモコンのエンジンスイッチ(E)を2回押しします。
- 6 メインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴り、再登録は完了します。



※指定した時間を経過した場合、または順番を間違えた場合は手でエンジン始動後、初めからやり直してください。

付録

車両スマートキーの認証登録をする

取付け後、使用中に車両スマートキーの追加、交換などで車両スマートキーのIDが変更した場合、エンジンスタートでのエンジン始動ができなくなります。その場合、車両スマートキーの認証登録が必要になります。

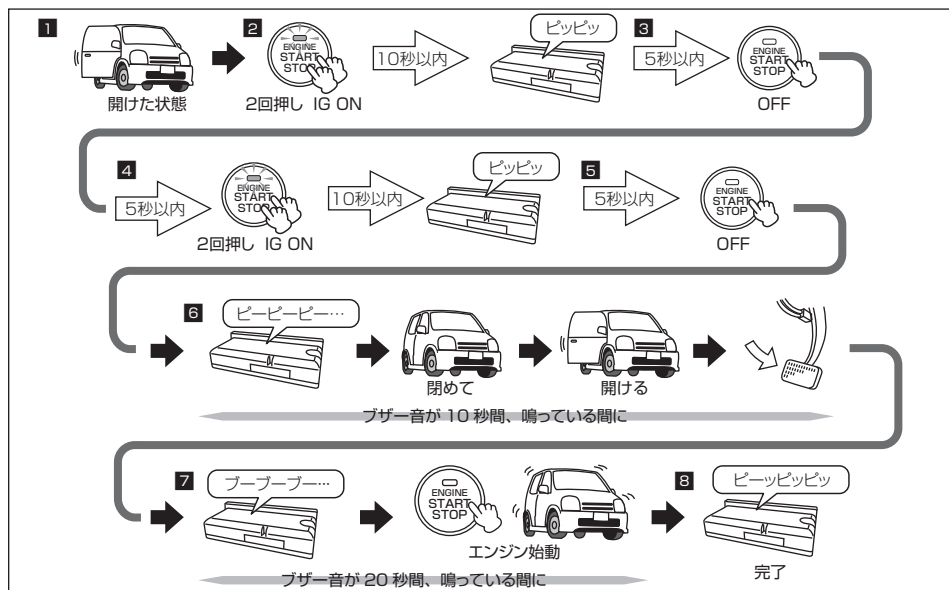
◆以下の場合に車両イモビライザーIDのデータ再登録を行なってください。

- ①スマートキーを追加した ②紛失、故障等でスマートキーを交換した ③スマートキーの修理をした

■車両スマートキーの認証登録方法

※下記操作をしないとリモコンでエンジン始動できません。

- 追加または交換したスマートキーを車内に持ち込み車両のドアを開けた状態にします。
※始めからお持ちのスマートキーは使用しません。
- プッシュスイッチを2回押し、IGをONにします。
10秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。
- 5秒以内にプッシュスイッチを押し、車両電源をOFFにします。
- 5秒以内 プッシュスイッチを2回押し、IGをONにします。
10秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。
- 5秒以内にプッシュスイッチを押し車両電源をOFFにします。
- メインユニットからブザー音が「ピーピーピー…」と10秒間鳴っている間に車両のドアを閉めて、開けてブレーキペダルを踏みます。
- メインユニットから「ブーブーブー…」とブザー音が変わり20秒間鳴っている間にブレーキペダルを踏んだままエンジンを始動します。
- 登録が完了するとメインユニットから完了のブザー音が鳴ります。

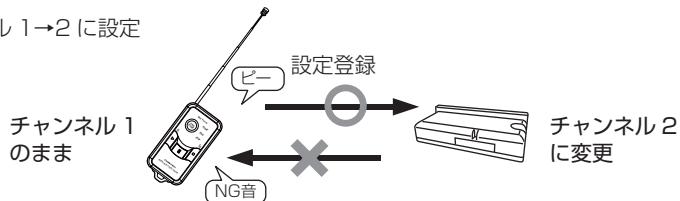


※指定した時間を経過した場合、または順番を間違えた場合は手でエンジン始動後、初めからやり直してください。

リモコンの周波数切替

P24～26 機能設定「③通信周波数切替」設定を変更し「設定登録」した際メインユニットからリモコンへのアンサーバック音が妨害電波等でNGになった場合メインユニットとリモコンの設定チャンネルが合わなくなりリモコンでメインユニットの操作ができなくなります。その場合リモコン単体のみチャンネルを変更してメインユニットにチャンネルを合わせます。

例：チャンネル 1→2 に設定
変更失敗

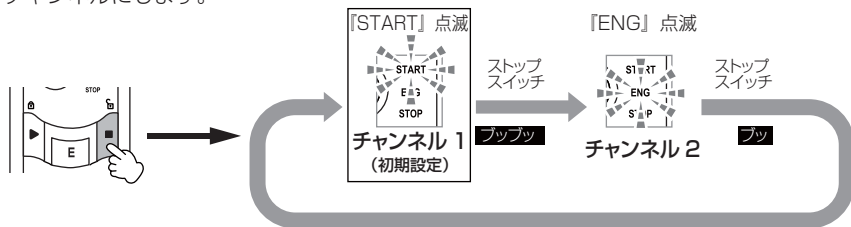


■リモコン単体のチャンネル変更方法

- 1** リモコンのエンジンスイッチ(E)とストップスイッチ(■)を同時に10秒間長押しすると、リモコンからブザー音が「ピッピッピッ」と鳴り、設定モードに入ります。



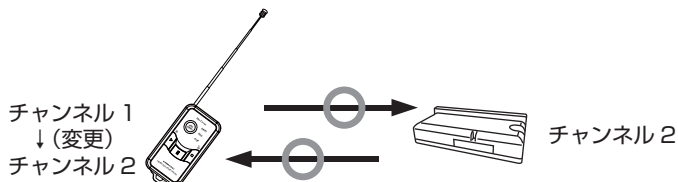
- 2** リモコン STOP スイッチ 1 度押す度にチャンネルが切り替わりますので今の設定と違うチャンネルにします。



- 3** リモコンのエンジンスイッチ(E)とストップスイッチ(■)を同時に5秒間長押しすると、リモコンからブザー音が「ビッビッピッ」と鳴り、設定登録(設定モード終了)完了です。



- 4** リモコンのみチャンネルが切り替わりリモコンでのメインユニットの操作が可能になります。



※リモコンでの操作ができない場合は再度違うチャンネルに変更してください。

付録

故障かな?と思ったら

症状	確認内容	対処方法	参照ページ
リモコンでエンジンが始動しない。 ※本体の電源が入らない。	本製品に適合した車両ですか?	適合車両以外取付けできません。	—
	車両接続ハーネスは確実に接続されていますか?	確実に接続してください。	P12~P13
	アースはとれていますか?	アース線をボディアース部またはフレームのビスに確実にとってください。	P11
	リモコンの電池が消耗していませんか?(電池電圧容量が低下)	新しい電池と交換してください。	P7
	リモコンの電源が入らない	電池カバーをしっかりとめて電池の導通をさせてください。	P7
	動作確認(⇒P14~15)は全て終了し、ブザー音の確認もできましたか?	メインユニットのIDコードが消失している可能性があるため、IDコードを再登録(⇒P28)し、動作確認を行ってください。	P14~P15
フットブレーキハーネスに付いているヒューズ(10A)が切れていませんか?	車両接続ハーネス等配線のショートが考えられます。配線を再確認後、別売りのヒューズ(10A)の交換をしてください。	—	
リモコンでエンジンが始動しない。 ※本体の電源は入る。	本製品に適合した車両ですか?	適合車両以外取付けできません。	—
	車両接続ハーネスは確実に接続されていますか?	確実に接続してください。	P12~P13
	バッテリー交換後、動作確認を行いましたか?	車両情報未検出エラーの可能性があります。初期設定および動作確認を行ってください。	P14~P15
	バッテリーを交換しましたか? 本機の付け替えをしましたか? 車両接続ハーネスを外しましたか?	IDコードを再登録(⇒P28)し、初期設定および動作確認を行ってください。	P14~P15
	何らかの動作不良エラーのブザー音が鳴りますか?	動作不良エラー確認表を参照し、動作確認を行ってください。	P16
	スマートキーを交換、追加、修理等をしていませんか?	「車両スマートキーの認証登録をする」を行なってください。	P30
	車両ストップランプは点灯しますか?	車両ストップランプのヒューズが切れている可能性があります。ヒューズを交換してください。	—
	カーテシセンサー(複数線)を取付けましたか?	一部車両でオプションSS-051「カーテシセンサー(複数線)」が必要になります。	P10/20

次のページに続く

故障かな?と思ったら

症状	確認内容	対処方法	参照ページ
リモコンでエンジンが始動しない。 ※本体の電源は入る。	1回リトライをしていませんか?	外気温が低い時やバッテリーの状態によってはエンジン自体のかかりが悪いことがあります。 バッテリーの状態を確認後、再度エンジンスターターで始動してください。	—
リモコンでエンジン始動するが、設定時間よりも先にエンジンが停止してしまう。	アイドリング時間の設定は確実ですか?	「アイドリング設定」を参照し確認してください。	P25
	アース線は確実に接続されていますか?	アース線が確実にボディアース部またはフレームのビスに接続されているかを確認してください。	P11
リモコンで操作できる距離が極端に短い。	アンテナは伸ばしてありますか?	リモコンのアンテナを伸ばしてください。	P8
	リモコンを手等で包みこんでいませんか?	リモコンを正しく操作してください。	P8
	リモコンと車の間に遮蔽物がありますか? ※電気の流れる材質は、電波を通しにくいです。 (金属鉄筋コンクリート、トタン壁等)	遮蔽物の少ない場所へ移動してください。	P8
	リモコンの電池が消耗していませんか?(電池電圧容量が低下)	新しい電池と交換してください。	P7
リモコンでドアロック/アンロックができない。	ドアロック配線の接続箇所が間違っていますか?	接続箇所を確認してください。	P20
	運転席側のシートベルト警告コネクターが外れていませんか?	シートベルト警告コネクターが外れている場合は確実に接続してください。	—
その他	動作が不安定	アース線を別の場所へ取り直してください。	P11

付録

アフターサービスについて

取付けには専門知識が必要です。取付けはお買い上げの販売店または、カーディーラーにご依頼ください。お客様ご自身での取付けサポートは行なっていません。
また、お客様ご自身で取付けられた場合は保証が受けられません。

保証書

- ・保証書は、必ず「販売店名・購入年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- ・保証書に販売店名、購入年月日を証明するものが無いもの、コピーした保証書は保証対象外とさせていただきます。

保証期間

ご購入日から3年間です。対象部分:メインユニット(リモコンは1年間)
※ただし、電池などの消耗部品は除く。

修理を依頼されるとき

- 「初期設定および動作確認」(⇒P14~15)と「故障かな?と思ったら」(⇒P32~33)を参照し点検をしていただいても、なお症状が改善されない場合は、販売店へご相談いただき故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。
- ・保証期間内の場合
恐れ入りますが、取付け販売店に保証書をそえて、製品をご持参ください。保証規定に従って修理いたします。
 - ・保証期間が経過している場合
取付け販売店にまずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
 - ・本製品の故障による代替品の貸出しは弊社では一切行っておりません。
 - ・本製品を修理のため、お送り頂く場合の送料および取付け・取外し等にかかる全ての費用は、保証に含まれておりません。あらかじめご了承ください。

アフターサービス等について

アフターサービス等についてご不明な点は販売店にお問い合わせください。

リモコンを紛失または破損

- ・リモコンを紛失や破損した時は、販売店にお問い合わせください。
- ・新しいリモコン(オープン価格)を購入された場合は、「WR800PSリモコンのIDコードを再登録する」をご覧くださいIDコードの再登録を行なってください。(⇒P28)

本書にしたがって、正常な取付け・接続・使用状態で製品に故障が生じた場合は、「保証書」の保証規定にしたがって修理いたします。ただし、上記以外の取付け・接続・使用状態による車の故障や事故等の付随的傷害・損害の保証については、弊社は一切の責任を負いかねます、あらかじめご了承ください。

製品仕様

■リモコン

技術基準	RCR標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429MHz帯 2チャンネル任意切替式
識別IDコード	1000万種
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	±4ppm以内
周波数偏位	±2.5KHz以内
送信時間	3秒以内
送信休止時間	2秒以上
受信周波数	429MHz帯 2チャンネル任意切替式
受信感度	-116dBm (25℃)で安定動作
局発安定度	±4ppm以内
送受信アンテナ	ロッドアンテナ
動作温度範囲	-20℃～+60℃
使用電池	リチウム電池 CR2025×2
ケース寸法	31 (W)× 58 (H)× 13.3 (D)mm 突起部除く
重量	26.0g (電池含む)

■メインユニット

技術基準	RCR 標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429MHz 帯 2チャンネル任意切替式
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	± 4ppm 以内
周波数偏位	± 2.5KHz 以内
送信時間	3 秒以内
送信休止時間	2 秒以内
受信周波数	429MHz 帯 2チャンネル任意切替式
受信感度	- 116dBm (25℃) で安定動作
動作温度範囲	- 20℃～+ 70℃
電源電圧	12V 車専用 (DC8V ~ 16V)
待機電流	平均 7mA 以下
寸法	58 (W) × 129 (H) × 33 (D) mm (突起部除く)
重量	107g

付録

メモ

メモ

Dotted lines for memo writing.